基本政策	産業の活力があふれる元気なまちづくり
施策展開の方向	地域の産業が盛んなまちをつくる
施策	19:地域を支える商業・工業の振興
	<ul><li>●地域産業の活力が高まり、交流人口の増加とともに多くの人が市内で働いています。</li><li>●商店や商店街が活性化し、消費者とのコミュニケーションが活発に行われています。</li></ul>

第2分科会の   旅等の達成比2に関する名素号の判断理中・音目						
	第2万科会の 評価結果		施策の達成状	況に関する各委員の判	断理由・意見	
施策の達成状況 :A~D	B 計画どおりの成果	・世界、日本の景気動向に影響されやすいため、地方公共団体としての対策は限られると考える。 ・日本遺産の認定や企業立地の促進などが具体的に進んでいると感じる。 ・指標の達成実績・見込は妥当な水準であり、内部評価は合理性があると考える。 ・施策を構成する主な事業については、概ね計画通りに進捗され、成果が得られているものと考える。 ・新たな産業用地である東部第二地区への企業立地が促進されているため、従業員数の増加が見込まれることは妥当である。				
	が得られている 			各委員の評価結果		
		委員	委員	委員	委員	委員
		B 計画どおりの成果 が得られている	A 計画以上の成果が あがっている	B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている
	第2分科会の 評価結果		事務事業の構	構成に関する委員の判	断理由・意見	
計画事業の構成 に関する評価	b	標の一部現状値や今後	<b>後の見込値に乖離があ</b>	ると判断するが、施第るため、指標の妥当性 動向を知るための指標	±等について整理する	ことが必要である。
∶a~c	概ね妥当である			各委員の評価結果		
		委員	委員	委員	委員	委員
		b 概ね妥当である	b 概ね妥当である	a 適切な構成である	b 概ね妥当である	b 概ね妥当である
	第2分科会の 評価結果		市民意識の反	で映に関する委員の判 <b>を</b>	断理由・意見	
市民意識の反映 : A~C	C 反映できていない	・市民意識が、概ね施策に反映されていると考える。 ・市民自由意見において、伊勢原駅北口周辺地域の商店街に活気が少ないこと、大山への登山客や観光客が同地域で購買せず他地域に流れていると感じているとの意見が散見された。本意見は、既存の駅周辺商業地域の振興に向けた課題整理・施策立案に有効な意見であると思われ、今後は、こうした意見の反映がなされる施策実施に期待したい。				
		<b></b>	<b></b>	各委員の評価結果	<b></b>	<b></b>
		委員	委員	委員	委員	委員
		C 反映できていない	B 概ね反映されている	B 概ね反映されている	C 反映できていない	C 反映できていない
	第2分科会の 評価結果	課題の捉え方に関する委員の判断理由・意見				
課題の捉え方 : A~C	B 課題の捉え方に一	・方向性は良いが、個いう方針を出してほり いう方針を出してほり ・駅北口周辺地域にあ	確と思われるが、目指 憂先度、スピード感が Jい。 おける登山客や観光客	すべき具体的なデザイ感じられない。「効果の受入体制の整備・拡 が判断できるようにす	₹があり、費用が軽微 な充について改善余地	
	部不足が見られる			各委員の評価結果		
		委員	委員	委員	委員	委員
		A 課題の捉え方が 的確である	A 課題の捉え方が 的確である	B 課題の捉え方に一部 不足が見られる	B 課題の捉え方に一部 不足が見られる	B 課題の捉え方に一部 不足が見られる
	第2分科会の 評価結果		施策の方向	性に関する委員の判断	理由・意見	
施策の方向性 : A~D	B 継続実施	<ul><li>・産業活性化の重要な</li><li>・継続実施として判断</li></ul>	インターチェンジ周辺 な手段となるIT化を進		<b>えいか。</b>	信すべき。
		 委員	委員	各委員の評価結果 委員	委員	委員
		安貝 B	安貝 A	安貝 A	安貝 B	安貝 B
		継続実施	拡大して実施	拡大して実施	継続実施	継続実施

基本政策	産業の活力があふれる元気なまちづくり
施策展開の方向	地域の産業が盛んなまちをつくる
施策	20:地域とつながる都市農業・森林づくりの推進
目標とする状態	●多様な担い手により優良な農地が維持され、消費者のニーズを捉えた新鮮で安心・安全な地場農産物が幅広く普及し、多岐に及ぶ農業が盛んに行われています。 ●市の貴重な財産である森林などの自然資源が、次代に確実に引き継がれています。

•							
	第2分科会の 評価結果		施策の達成状況	兄に関する各委員の判	断理由・意見		
施策の達成状況 : A~D	B 計画どおりの成果	<ul> <li>・指標の達成度が向上しており、計画的に進んでいると思う。</li> <li>・目標達成状況は概ね良好である。農業、林業は経験上、改革や変革が困難な分野であると思うが、大都市近郊型としてさらに活性化努力が必要である。</li> <li>・農業基盤整備促進事業を除く各事業について、概ね計画通り進捗し、成果が得られている。農業基盤整備促進事業については、実態を踏まえた計画見直しを検討のうえ、継続的な推進を期待したい。</li> </ul>					
	が得られている			各委員の評価結果			
		委員	委員	委員	委員	委員	
		B 計画どおりの成果 が得られている	C 計画より遅れている	B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている	
	第2分科会の 評価結果		事務事業の構	成に関する委員の判	断理由・意見		
計画事業の構成 に関する評価 : a~c	b	<ul><li>農産物のブランド(</li><li>生産性の視点を追加</li></ul>	と、地場産品販売の具 と推進事業は、市内各 加してはどうか。 カー環として、猪、猿	団体との協力体制がオ	パイントであると思う	o	
. u . o	概ね妥当である			各委員の評価結果			
		委員	委員	委員	委員	委員	
		b 概ね妥当である	a 適切な構成である	b 概ね妥当である	b 概ね妥当である	b 概ね妥当である	
	第2分科会の 評価結果		市民意識の反	一般に関する委員の判	断理由・意見		
市民意識の反映 : A~C	B 概ね反映されてい る	・満足度、重要度が平均値より若干低い。 ・多くの市民が林業や農業は地域の誇れる産業であると認識している。また、ブランド化への取り組みについても、市民の理解があると思う。 ・市民意識の反映は相応になされていると思うが、同時に行政が市民意識を超える発想と知恵で都市近郊型農業・林業を発展させてほしい。既成概念の打破が必要。 ・有害鳥獣対策の充実に努めてもらいたい。					
				各委員の評価結果			
		委員	委員	委員	委員	委員	
	(T.O. () T.I.O. o.	B 概ね反映されている	B 概ね反映されている	B 概ね反映されている	B 概ね反映されている	B 概ね反映されている	
	第2分科会の 評価結果	課題の捉え方に関する委員の判断理由・意見					
課題の捉え方 : A~C	В	<ul><li>課題の捉え方は申し</li></ul>	Dいて、具体的対処を ン分ない。 質として捉える必要が				
	課題の捉え方に一 部不足が見られる			各委員の評価結果			
		委員 	委員	委員	委員	委員	
		B 課題の捉え方に一部 不足が見られる	B 課題の捉え方に一部 不足が見られる	A 課題の捉え方が 的確である	A 課題の捉え方が 的確である	B 課題の捉え方に一部 不足が見られる	
	第2分科会の 評価結果		施策の方向	生に関する委員の判断	理由・意見		
施策の方向性 :A~D	B 継続実施	・観光産業との共生で ・農業・林業の安定的 一層の発展が期待され	的発展と都市の健全化	は不可分である。伊勢 立地条件を持っている	啓原市は絶好の位置に	あり、この分野での	
				各委員の評価結果			
		委員	委員	委員	委員	委員	
		A 拡大して実施	B 継続実施	A 拡大して実施	B 継続実施	B 継続実施	

基本政策	産業の活力があふれる元気なまちづくり
施策展開の方向	多くの人が訪れる賑わいのあるまちをつくる
施策	21:伊勢原ならではの観光魅力づくり
	<ul><li>●地域資源を生かした様々な交流が活発化し、1年を通じて多くの観光客で賑わっています。</li><li>●交流を大切にするおもてなしの心がひろがり、国際的な観光地として、国内外から多くの人が訪れています。</li></ul>

•							
	第2分科会の 評価結果		施策の達成状	況に関する各委員の判	断理由・意見		
施策の達成状況 : A~D	A 計画以上の成果	・観光に関する国の政策が追風になっていると考えられる。 ・日本遺産の認定が得られたのは行政側の努力の成果である。 ・魅力を発見、発掘、発展させることが、本施策において重要な点である。 ・計画通りに進捗され、計画以上の成果が得られている。 ・本市がテレビ等のマスコミに取り上げられる割合が増加していると感じる。					
	があがっている			各委員の評価結果			
		委員	委員	委員	委員	委員	
		A 計画以上の成果が あがっている	A 計画以上の成果が あがっている	B 計画どおりの成果が 得られている	A 計画以上の成果が あがっている	A 計画以上の成果が あがっている	
	第2分科会の 評価結果		事務事業の構	構成に関する委員の判題	断理由・意見		
計画事業の構成 に関する評価	b	<ul><li>時間をかけて幅広い</li><li>概ね妥当であると</li></ul>	こ施策・事業も必要で N層から親しまれる事 判断したが、インバウ 外の観光資源も積極的	業としてほしい。 ンド強化対策の必要性	もについて検討いただ:	きたい。	
∶a~c	概ね妥当である			各委員の評価結果			
		委員	委員	委員	委員	委員	
		b 概ね妥当である	b 概ね妥当である	a 適切な構成である	b 概ね妥当である	a 適切な構成である	
	第2分科会の 評価結果		市民意識の反	で映に関する委員の判 <b>を</b>	断理由•意見		
市民意識の反映 :A~C	А	<ul><li>幅広い世代や、様々な産業から期待されている分野であるため、幅広い意見の集約も必要と思われる。</li><li>本施策は大部分の市民の声をほぼ反映していると思う。</li><li>市民意識調査の自由意見も多いので関心の高さが見て取れる。</li></ul>					
	反映されている	* 무	<del>_</del>	各委員の評価結果	禾무	<b>조</b> 무	
		委員 ————————————————————————————————————	委員  B	委員 A	委員 ————————————————————————————————————	委員 A	
		反映されている	概ね反映されている	反映されている	反映されている	反映されている	
	第2分科会の 評価結果	課題の捉え方に関する委員の判断理由・意見					
課題の捉え方 :A~C	A 課題の捉え方が 的確である	ンシャルが多い分野さ ・日本遺産認定地とし ・回遊性を高めるため ランティアの充実もし ・増加する外国人観り 必要性について検討し	と考えられる。 して更なる認識の共有 かの交通インフラ(道 必要である。 光客を大山等の魅力あ し、課題に反映される	路、駐車場、案内板) る観光地に誘引すべく	やハブ拠点を充実さ <sup>、</sup> 、インバウンド対応の	せてほしい。観光ボ	
				各委員の評価結果			
		委員	委員	委員	委員	委員	
		B	Α	Α	B = ==================================	Α	
		課題の捉え方に一部 不足が見られる	課題の捉え方が 的確である	課題の捉え方が 的確である	課題の捉え方に一部 不足が見られる	課題の捉え方が 的確である	
	第2分科会の 評価結果		的確である		不足が見られる	課題の捉え方が	
施策の方向性 :A~D		不足が見られる ・国際動向や経済動 ・集客意識の再構築が ・大山・日向地区の駅 ると判断する。	的確である 施策の方向 句を踏まえて、受け入 が必要である。 注車場整備など観光客	的確である 性に関する委員の判断 れ環境を拡大できる体 の受入体制の構築につ で、積極的に施策を展	不足が見られる 「理由・意見 本制は整備しておく必要 のいては、拡大して実施	課題の捉え方が 的確である 要がある。	
	評価結果	不足が見られる ・国際動向や経済動成・集客意識の再構築が、大山・日向地区の場ると判断する。・観光はまだまだ伸び	的確である 施策の方向 句を踏まえて、受け入 が必要である。 注車場整備など観光客	的確である 性に関する委員の判断 れ環境を拡大できる体 の受入体制の構築につ で、積極的に施策を展 各委員の評価結果	不足が見られる 「理由・意見 本制は整備しておく必ら いいては、拡大して実施 酸開してほしい。	課題の捉え方が 的確である 要がある。 施していくべきであ	
	評価結果	不足が見られる ・国際動向や経済動 ・集客意識の再構築が ・大山・日向地区の駅 ると判断する。	的確である 施策の方向 句を踏まえて、受け入 が必要である。 注車場整備など観光客	的確である 性に関する委員の判断 れ環境を拡大できる体 の受入体制の構築につ で、積極的に施策を展	不足が見られる 「理由・意見 本制は整備しておく必要 のいては、拡大して実施	課題の捉え方が 的確である 要がある。	

基本政策	産業の活力があふれる元気なまちづくり
施策展開の方向	多くの人が訪れる賑わいのあるまちをつくる
施策	22: いせはらシティセールスの推進
	●伊勢原の都市イメージが定着し、市内外に伊勢原の魅力や取組が分かりやすく伝わり、様々な交流が盛んに行われています。

第 0 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2						
施策の達成状況 :A~D	第2分科会の 評価結果		施策の達成状	況に関する各委員の判	断理由・意見	
	B 計画どおりの成	<ul><li>計画計上事業の成果は徐々に上がっていると思う。</li><li>本施策は長期に渡って、地道に継続することが肝要である。スタートとして、テレビ放映、市公式イメージキャラクターの浸透等、施策は順調に達成されていると考える。</li><li>概ね計画通りに進捗され、成果が得られている。</li></ul>				
	果が得られてい			各委員の評価結果		
	る	委員	委員	委員	委員	委員
		A 計画以上の成果が あがっている	B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている
	第2分科会の 評価結果		事務事業の権	構成に関する委員の判	断理由・意見	
計画事業の構成 に関する評価	b	迅速に行うべきである・観光が大きくPRさ ・観光が大きくPRさ 安心安全、住みやする ・人口については、E はどうか。	<ul> <li>・本施策は、他の施策との関係が深い分野であり、アンケート等の調査分析を適宜実施し、新たな対処を 迅速に行うべきである。</li> <li>・観光が大きくPRされているように思うので、定住人口の増加に向けて、その他の産業の立地や利便性、 安心安全、住みやすさ等の発信も必要ではないか。</li> <li>・人口については、自然増を指標に入れたどうか。そのために子育て環境、医療環境の充実度をPRするのはどうか。</li> </ul>			
∶a~c	概ね妥当である	・ 災害か少ないという	うことをもっとアピー			
		委員	委員	各委員の評価結果 委員	委員	委員
		b 概ね妥当である	b 概ね妥当である	b 概ね妥当である	a 適切な構成である	b 概ね妥当である
	第2分科会の 評価結果		市民意識の原	<b>反映に関する委員の判</b>	断理由・意見	
市民意識の反映 :A~C	B 概ね反映されて いる	・満足度が得られているが、重要度が市民に理解されていない。 ・特に大きな問題や災害がないなどは別の視点から見れば住みよいポテンシャルの高い値域とも言えるではないか。 ・市のホームページ(観光、文化、歴史、情報など)アクセス回数を指標化してはどうか。市民の意識査は、市内の小・中・高生、大学や社会人へのアンケートでトレンド把握出来ると思う。				うか。市民の意識調
				各委員の評価結果		
		委員	委員	委員	委員	委員
		C 反映できていない	B 概ね反映されている	B 概ね反映されている	B 概ね反映されている	B 概ね反映されている
	第2分科会の 評価結果	課題の捉え方に関する委員の判断理由・意見				
課題の捉え方 : A~C	Α	・シティプロモーショ	こ明確なビジョンとリョン(シティセールス 紹介だけではなく、イ	ーダーシップが求めら )の意味が分かりにく ンフラの充実、人の気	い。日本語名と併用	
	課題の捉え方が 的確である		7.0	各委員の評価結果		7.0
		委員	委員	委員	委員	委員
		A 課題の捉え方が 的確である	A 課題の捉え方が 的確である	B 課題の捉え方に一部 不足が見られる	A 課題の捉え方が 的確である	B 課題の捉え方に一部 不足が見られる
	第2分科会の 評価結果		施策の方向	性に関する委員の判断	理由·意見	
施策の方向性 :A~D	A 拡大して実施	えられる。 ・行政と市民が一体と ・市内小中高生への ・既にある程度の成り 費用対効果を踏まえ ・	となるには市民への理 啓蒙がより必要かつ有 果が得られている状況 市総合計画全体の中で	施策を拡大し、市民・ 解度をさらに高めるだ効と考える。 であるが、さらなる拡 判断されることが望ま の優位性をもっと積極	きめの取り組みが必要 な大の必要性について ましいと考える。	と思う。は、追加投資による
				各委員の評価結果		
		委員	委員	委員	委員	委員
		A 拡大して実施	B 継続実施	A 拡大して実施	B 継続実施	A 拡大実施

基本政策	都市の活力を生み出す魅力あるまちづくり				
施策展開の方向	<b>卵市の骨格を支えるまちをつくる</b>				
施策	23:地域特性を生かした新たな産業基盤の創出				
目標とする状態	●地域を大切にする企業が集積し、雇用機会が創出され、新たな市街地の交流が始まっています。				

施策の達成状況 :A~D	第2分科会の 評価結果		施策の達成状	況に関する各委員の判	断理由・意見		
	В	・順調に推進している ・施策を構成する主な ・指標の目標値が一部	な事業について、概ね	計画通りに進捗され、	成果が得られている	•	
	計画どおりの成果 が得られている			各委員の評価結果			
		委員	委員	委員	委員	委員	
		B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている	A 計画以上の成果が あがっている	B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている	
	第2分科会の 評価結果	事務事業の構成に関する委員の判断理由・意見					
計画事業の構成 に関する評価	а		より、新たな展開が期 「交通要所と周辺整備	待される。 」は着眼点も有効性も	5優れている。		
∶a~c	適切な構成である			各委員の評価結果			
		委員	委員	委員	委員	委員	
		a 適切な構成である	b 概ね妥当である	a 適切な構成である	a 適切な構成である	a 適切な構成である	
	第2分科会の 評価結果		市民意識の反	で映に関する委員の判 <b>を</b>	断理由・意見		
市民意識の反映 :A~C	B 概ね反映されてい る	・満足度が若干平均値より高くなっているが、重要度は平均値を下回っており、市民に重要性が理解されていない。 ・高速道路のインターチェンジ周辺の性格上、倉庫、物流企業の立地が必然的に多くなる可能性が高いが、様々な産業の立地も視野に検討すべき。 ・重要度が若干低い点は、産業基盤整備は歩道整備などと違い、市民の日常生活に直接影響を及ぼしにくいためと考える。					
				各委員の評価結果			
		委員	委員	委員	委員	委員	
		C 反映できていない	B 概ね反映されている	B 概ね反映されている	B 概ね反映されている	B 概ね反映されている	
	第2分科会の 評価結果	課題の捉え方に関する委員の判断理由・意見					
課題の捉え方 : A~C	A 課題の捉え方が	・長期的な視野と目が ・産業基盤は工業系の 工業系と同じ位重要で て良いのではと思う。	たの経済性との両面か のみならず、幅広い分 であろう。伊勢原らし	随時検討対処すべきで ら計画を進めるべきと 野を対象とすることだい特色を発揮するには か。	に思う。 が望まれる。観光産業		
	的確である			各委員の評価結果			
		委員	委員	委員	委員	委員	
		A 課題の捉え方が 的確である	A 課題の捉え方が 的確である	B 課題の捉え方に一部 不足が見られる	A 課題の捉え方が 的確である	B 課題の捉え方に一部 不足が見られる	
	第2分科会の 評価結果		施策の方向	性に関する委員の判断	理由・意見		
施策の方向性 : A~D	A	<ul><li>地域とのバランス</li></ul>		産業基盤創出に関して。	新たな提案を検討し	ていくべきである。	
	拡大して実施			各委員の評価結果			
		委員	委員	委員	委員	委員	
		A 拡大実施	A 拡大実施	A 拡大実施	B 継続実施	B 継続実施	